

野口医学研究所は、日本の生
んだ世界的医学者・野口英世博士の
偉業を記念し、国際医学交流促進を目的に

1983年アメリカ政府の承認のもと、フィラデルフィア市に
設立された米国免税財団法人です。世界最先端の医学、看護学、
歯学および薬学に関わる共同研究開発や、日米双方を初め世界中の医師・
看護師・医学生の交換留学システムを確立しその資金援助を行うなど、各国
間に亘る国際医学交流の重要な拠点となっています。また、近年に至り臨床医
学交流に加えワクチンの共同研究開発、発展途上国への医師派遣を含め世界中
何処でも利用できる24時間対応の電話医療相談サービス「ドクターホットラ
イン[®]」の提供、日本人医師による海外での「人間ドック[®]」サービス網の
充実など、コスモポリタン医療の確立にさまざまな形で貢献しています。

最も新しい活動として、研修・研鑽により完成された医療スタッフや
コ・メディカルスタッフがその成果と実力を発揮できる病院を
選び改良を加え、「ホスピタルサバイバル」を標語として
患者優先のチーム医療が実践できる医療施設の
普遍化を目指しています。

— 野口医学研究所 本部 —

米国財団法人 野口医学研究所

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-22-13

虎ノ門秋山ビル5階

TEL : 03-3501-0130

FAX : 03-3580-2490

E-mail: ryugaku@noguchi-net.com

米国オブザベーション臨床研修制度 のご案内

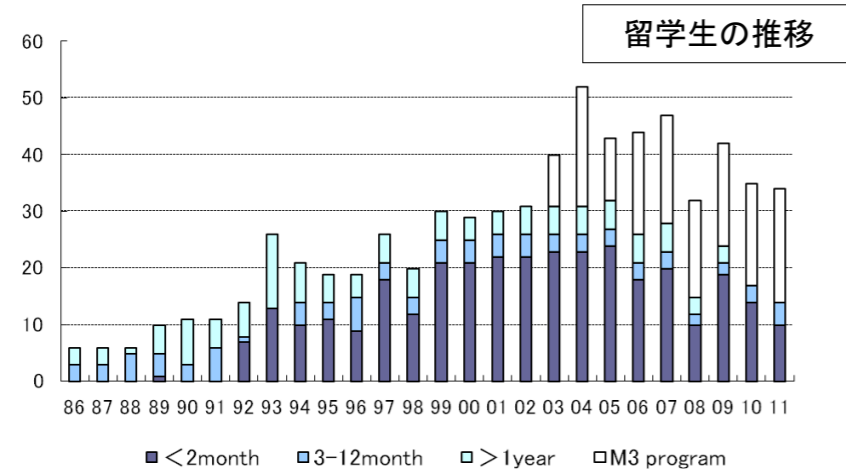
～医師の育成プログラム～



米国財団法人野口医学研究所
Noguchi Medical Research Institute Since 1983

制度の概要

野口医学研究所は1983年創立以来日米双方の医師・医学生・看護師の留学システムを確立し、奨学金制度などを設けて医療従事者たちの臨床留学を支援している。この実績を元に更に門戸を広げ、将来我が国の医療を担う優れた医師の育成を図る。



対象と費用

<対象> 医師（研修医・医学生を含む）、歯科医師、看護師、コ・メディカルスタッフ

<費用>

期間	登録料	研修費
1～2週間	¥30,000	¥150,000～¥350,000
3～4週間	¥30,000	¥200,000～¥600,000

※希望する科、時期、内容によって変わります。

※往復航空券、宿泊費（大学寮費\$60～\$90/日）、食費等は別途研修者本人が負担することとする。
 ※登録料は申込時に支払う。なお、登録料は返金しないものとする。
 ※4週間をこえる研修または1・2週間以内の短期研修については、別途協議の上決定する。

<キャンセル料> 登録料を除いた研修費の50%

—キャンセル条件—

※研修日程が確定した後にキャンセルをする場合。

※研修開始日より1ヶ月以内の研修日程変更を不可とし、一度キャンセル扱いとしてキャンセル料を支払い改めて申込をするものとする。

<内容> **見学研修（見学が原則であるが、臨床現場でのディスカッション参加可）。**
 留学生の目的に応じてそれに適うように対処・手配する。

応募資格

- 医師（研修医・医学生を含む）、歯科医師、看護師、その他コ・メディカルスタッフ
- 英語能力：TOEFL PBT 500点（CBT 173点、iBT 61点）以上が望ましい
 *この基準に満たない場合でも応募は可能です。英語での面接を実施する場合があります。
- 米国での臨床研修にしっかりとした目的意識を持ち意欲的に取り組んでいる人

応募書類

- 写真付き履歴書（和文、市販用紙に手書きで可）
- 課題作文「米国医学研修応募に当り」和文A4版2枚以内
- Curriculum Vitae（英文）
- Personal Statement（英文）
 「なぜ米国留学を希望するのか」という内容を含めること
- 英文の推薦状2通
 （2人の推薦人から直接野口医学研究所に郵送すること。事前の相談により和文でも可）
- TOEFL成績証明書のコピー
- USMLE step1、step2 CKの合格者はそのscore reportのコピー、step2 CSの合格者は合格証のコピー、ECFMG certificateを保持している人はそのコピー

※（2）～（5）については、A4サイズの内紙にタイプしたものに限りま。

※（2）～（7）に関しては、選考採点の対象になります。

※面接をする場合もあります。

英文の書類については、英語を母国語とする方にあらかじめ査読して頂くことをお勧めします。

*（3）（4）：英文での提出がどうしても難しい場合に限り和文でも可とします。この場合野口医学研究所が英訳をサポートします。

*（5）：2通揃えることが難しい場合は1通でも可とします。但し残りの1通は野口医学研究所が面接を行

研修詳細

<場所> ハワイ大学、トーマスジェファーソン大学、その他
 ほぼ全科に対応可能。

<期間> 研修者本人及び契約先医療機関の希望により、随時研修受け入れ先との交渉を進め決定する。通常1～4週間とし、4週間を超えるプログラムについては別途打合せを必要とする。

<内容> **原則として見学のみ**
 ラウンド、カンファレンス、グランドラウンドなどの参加は可能。

※英会話に関しては、野口医学研究所がMedical Englishのトレーニングプログラムを用意していますのでご相談下さい。

※渡米後各々ハワイ大学はDr. Little、トーマスジェファーソン大学はMs. BogenによるMedical Englishの講義（毎週1回）を受けることが望ましい。本講義の費用は、契約料に含まれるものとする。

【備考】

野口医学研究所では、将来的にアメリカでのレジデント、フェロドクターを視野に入れている方向けのエクスターン研修も従来から行っています。詳細は当財団HPをご参照下さい。